

## 1 単元について

対 象 学 年	中学校 第3学年
学 習 指 導 要 領	聞くこと（エ） 話すこと（ウ）
単 元 名	LESSON7 A Vulture and a Child, LET'S TALK 5 それはいい考えね （全8時） NEW CROWN ENGLISH SERIES 3
単 元 目 標	主張したい内容を整理し順序立てて、既習表現やジェスチャーなどを用いながら伝えようとする。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度） 既習表現を駆使しながら、自分の主張を整理し順序立てて話すことができる。（表現の能力） 相手の主張している内容について、分からないことを聞き返したり、不明確なことを確認したりして、正しく理解できる。（理解の能力） 間接疑問文などの文法事項とともに、ディベートでは、自分の立場を明確にすることや、結論を先に述べ、論の妥当性を後から説明するという論理構築が大切にされていることを理解している。（言語や文化についての知識・理解）
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 単元構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Let's TALK5 と Lesson7 を一つの大きな単元ととらえる。そして、この単元の指導を、概ね次のような流れで行う。 Let's TALK5 で、ディベートで使う基本的な表現を学習させる。 生徒にとって身近な話題で何度かディベートを行わせ、定型表現の習熟を図ったり、反論の仕方をつかませたりする。 Lesson7 の学習を行った後、"Carter had to save the child first."をトピックにしたディベートを、本単元の終末の活動として設定する。</li> </ul> <p>単元指導計画の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の導入で ALT とディベートの様子を示し、めざす姿に対する憧れをもたせるとともに、その姿を共通理解する。</li> </ul> <p>単位時間の学習過程の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次のことをねらいとした帯活動を位置付ける。 ディベートでよく用いる表現形式への習熟 積極的な話し方や聞き方の定着 使用する英語の多様化（仲間の英文を読み合うことを通して）</li> <li>・ どの生徒にも話す内容をもたせるとともに、意見を交わし合う上で共通に理解した方がよい未習語の確認のために、キーワードとなる語を教師との対話の中で指導する。</li> </ul>
参 考 資 料	資料1：本時における生徒の作品例 資料2：仲間の英文を紹介する学習プリント（本時用）

2 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化につ いての知識・理解
聞く評価規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語活動に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>初歩的な英語の情報を正しく聞き取ることができる。</li> <li>初歩的な英語の場面や状況を適切に聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。</li> </ul>
話す評価規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな工夫をこらしてコミュニケーションを続ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを正しく話せる。</li> <li>初歩的な英語を用いて、場面や相手に応じて適切に話することができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>初歩的な英語の学習において取り扱われた文化について理解している。</li> </ul>
単 元 の 評 価 規 準	<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをなんとか伝えようと、積極的に話している。</li> <li>説得力のある意見をするために、具体例や自分の経験などを見つくりを入れている。</li> </ul> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の話が分からなければ質問したり、相手の表情に気づいて繰り返したりするなどしながら話している。</li> </ul>	<p>(正確な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを正しく相手に伝えるために、具体例や根拠を示しながら、詳しく順序立てて話することができる。</li> </ul> <p>(適切な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の意見と関わらせて、自分の考えの妥当性を主張することができる。</li> <li>必要に応じて、言い換えたり繰り返したりしながら、相手に応じた話ができる。</li> </ul>	<p>(正確な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理解できない語や内容については、質問したり確認したりすることができる。</li> </ul> <p>(適切な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の話の構成をと意識して聞くことができ、要点を理解することができる。</li> <li>教科書本文の概要を聞き取り、キーポイントや登場人物の立場を理解することができる。</li> </ul>	<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>間接疑問文と、"want/tell/ask + 人 + to 不定詞"の意味と構造を理解している。</li> <li>I agree with ~. 等のディベートでよく使われる表現を理解している。</li> </ul> <p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディベートでは、自分の立場を明らかにすることや、結論を述べていく理由を構築することが大切であることを理解している。</li> </ul>
単 位 時 間 に お け る 具 体 の 	<p>理解しているかを相手が確認するために、相手の表情を見たり、話を聞いてジェスチャーをつけて話したりしている。</p> <p>自分の意見をよりの説得力のあるもの、根拠を一つでも多く述べたり、詳しく理由を考えている。</p> <p>相手の意見を理解しようとして、聞き返したり、メモを取ったりしている。</p>	<p>自分の立場とその理由を二文以上で話することができる。</p> <p>自分の考えを、First, Second, Third等の言い方を用いて、順序立てて話することができる。</p> <p>自分の考えを、具体例や気持ち、経験等を示し、詳しく話することができる。</p> <p>相手の意見と関わらせながら、自分の考えの妥当性を主張することができる。</p>	<p>相手の話の内容を正しく理解するために、必要に応じて聞き返したり確認したりすることができる。</p> <p>話の構成に着目し、主張の理由を具体的に理解することができる。</p> <p>トムは、カメラを撮るために、彼が「衝撃的」と言っている理由を理解することができる。</p>	<p>I agree/don't agree. や I see your point. 等のディベートでよく使われる意見を述べる際に有効な表現を理解している。</p> <p>間接疑問文や、want + 人 + to 動詞の意味と構造を理解している。</p> <p>結論をまず伝え、その後、その理由を述べ、結論をまとめようという論理的な方法について理解している。</p>

3 指導と評価の計画（全8時間）

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準				評価方法	指 導・援 助
			ア	イ	ウ	エ		
1	物事を提案されたとき、賛成か反対かを述べる表現を理解することができる。	<p>【導入】 本時の課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>賛成や反対を言うときの表現を理解しよう。</p> </div> <p>【展開】 教科書の内容を理解する。That's a good idea./I agree./I see your point. 教科書を音読する。 Practice Plus を用いて会話練習をする。</p> <p>【終末】 学習したことをノートに書く。</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の観察</li> <li>・ノートへの記入状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の本文には次時以降の活動で使用する大切な表現が多く含まれているため、繰り返し音読させ口頭でつまらず言えるようにする。</li> <li>・音読したり、会話練習をしたりした後で、英文をノートに書かせ、学習したことの定着を図る。</li> </ul>
2	自分の立場とその理由を、二文以上で話すことができる。 本単元の活動に対する意欲と見通しをもつことができる。	<p>【導入】 ALT と JTE との対話を聞き、次のトピックに対する考えをもった上で、ペアで対話する。（2回） Which is better, traveling by car or by train? 次のトピックについて、新たなペアで行う。 Which is better, school lunch or obento?</p> <p>【展開】 単元の課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Let's debate! ~相手の主張を打ち負かし、自分たちの意見を主張しよう! ~</p> </div> <p>課題に対する自分の願いをプリントに書く。</p> <p>【終末】 本時自分が対話の中で話した英語をプリントに書き提出する。</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の観察</li> <li>・活動の観察</li> <li>・学習プリントへの記入状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもつ手がかりとなるよう、キーワードを板書していく。</li> <li>・理由や根拠の数を増やさせたり、意見を書いたノートを閉じさせたり等の条件を与え、繰り返しの対話を飽きさせないようにする。</li> <li>・互いに意見を言い合わせるだけにすることで、反論したいという生徒のつばやきを生みだし、本単元の課題へとつなげる。</li> <li>・会話したことを英文で書かせ、2文以上の英文になっていない生徒には次時まで個別に指導する。</li> </ul>

3	<p>自分の考えを、具体例や根拠を示すとともに First ~, Second~等を用いて順序立てて話すことができる。</p>	<p>【導入】 前時と同じトピックの対話を、ペアを変えて行う。</p> <p>【展開】 本時の課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Which is better to visit in summer, sea or mountain? ~「なるほど!」とジャッジが思う意見を話そう!~</p> </div> <p>教師の話や黒板のキーワードも参考に、ペアで根拠を二つ以上考える。 1 回目の意見交換を行う。</p> <p>A: We think (sea) is better. We have (three) reasons. First -. Second -. Third -.</p> <p>B:I see your opinion. But we don't agree. We think (mountain) is better. ...</p> <p>教師が紹介する仲間の考えも参考にし、2 回目の意見交流を行う。</p> <p>【終末】 本時自分が対話の中で話した英語をプリントに書き提出する。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の観察</li> <li>・ 活動の観察</li> <li>・ 学習プリントへの記入状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ First -, Second -.等を使って話したり接続詞などを用いて詳しく述べたりする話し方の具体を、教師の話の中で示す。</li> <li>・ 文と文のつながりを意識して詳しく述べている生徒の姿を中間の振り返りで取り上げ、本時の課題への意識付けを図る。</li> <li>・ 教え合いが成立するよう、必要に応じてグループ内でペアを変える。</li> <li>・ 考えをもったり、英語で表現したりすることが困難な生徒に対して個別指導を行う。</li> </ul>
4	<p>都市での生活か田舎での生活のどちらの立場にするかを決め、その理由を考えることができる。</p>	<p>【導入】 前時と同じトピックの対話を、同じペアで行う。</p> <p>【展開】 本時の課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Which is better, city life or country life?</p> </div> <p>ALT とのモデル対話から、それぞれの立場の利点を理解する。また、聞き手が分からなかったことを説明する時の方法も理解する。 自分の立場を決め、その理由を考える。</p> <p>【終末】</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時他の生徒が話した内容を紹介することで、一人一人が話す内容に深まりや広がりをもたせる。</li> <li>・ 質問されたことを日本語を使わずに説明する時の三つの方法（特に一つ目）を、モデル対話の中で示す。 具体例をあげる 他の英語で代用する 絵を描く</li> </ul>

		理由をプリントに書き、提出する。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリントへの記入状況</li> <li>・理由が十分もてていない生徒には、次時まで個別に指導する。</li> </ul>
5 本時	<p>You said, "~." but I/we don't agree, because ~. We think ~.という言い方を用いて、相手の意見と関わらせながら、自分の考えの方がより妥当であることを主張することができる。</p>	<p>【導入】 前時と同じトピックについて対話する。</p> <p>【展開】 本時の課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Which is better, city life or country life? ~ 説得力のある反論をして、ミニディベートの勝利を目指そう! ~</p> </div> <p>ジャッジの基準を理解した上で、意見を考える。 1 回目のミニディベートを行う。(A^ア対 B^ア C、D^アはジャッジ)</p> <p>ジャッジを交代して、2 回目のミニディベートを行う。</p> <p>【終末】 自分たちがミニディベートの中で話した英語をプリントに書いて提出する。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ You said, "~."を言うことができるよう、メモをしながら話を聞くことと聞き取れなかったときは、What's your second reason? 等と確認することを指導する。</li> <li>・ 特に、具体例をあげて言い換える方法に重点をおく。</li> <li>・ ジャッジの基準を明らかにさせることで、課題に向かう意欲付けを図る。</li> <li>・ 活動が滞りがちな生徒に対しては、黒板やノートを指し示し、表現を確認する。</li> </ul>
6	<p>カーターさんの撮影した写真が「衝撃的」である理由を理解することができる。</p>	<p>【導入】 前時と同じトピックで対話する。 学習プリントを用いて間接疑問文などの新出文法の使い方を学習する。</p> <p>【展開】 本時の課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2 枚の写 真 は な ぜ shocking なのだろうか。</p> </div> <p>教師の話や絵等から、全体の概要を理解する。 課題に対する考えを交流する。</p> <p>【終末】 交流したことを踏まえ、自分の考えを学習プリントに記入する。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習プリントへの記入状況</li> <li>・ 特に語順について直接疑問を比較しながら理解を促す。</li> <li>・ 絵を用いて、生徒と会話しながら題材の導入をし、話題への興味付けを図る。</li> <li>・ 2 枚の絵に対する生徒の素直な反応の声を大切に拾い上げながら、課題に対する意識付けを図る。</li> <li>・ 自分の考えがなかかもてない生徒に対しては、「もし自分がこの場に</li> </ul>

							いたらどうするか」等の問いかけをし、自分なりの意見をもてるようにする。
7	カーターの行動の是非について、自分の考えをもつことができる。	<p>【導入】 本時の課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>Did Carter have to save the child first?</p> </div> <p>【展開】 教科書を音読する。 QA で内容確認をする。 課題に対する自分の立場を決める。 賛成派と反対派に分かれて意見をまとめる。</p> <p>【終末】 まとめた意見をプリントに記入し提出する。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の観察</li> <li>・学習プリントへの記入状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題について ALT と対話する中で、賛成派、反対派それぞれが意見をもてるように、キーワードを板書したり、必要な未習語は、ALT との対話の中で意図的に使用し、板書する。</li> <li>・順序立てた論理的な意見の生徒の英文を認め広める。</li> <li>・自分の意見が曖昧な生徒には、次時までに個別に指導する。</li> </ul>
8	カーターの行動の是非について、相手の意見と関わらせて自分の考えの妥当性を主張することができる。	<p>【導入】 本時の課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>Carter had to save the child first. For or Against?</p> </div> <p>【展開】 教師の司会のもと、ディベートを行う。 両者の立論 作成タイム 両者の反論と、それに対するそれぞれの反論 最終弁論 評価（勝敗）の発表</p> <p>【終末】 本単元の学習を振り返り、できるようになったことを確認する。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の観察</li> <li>・学習プリントへの記入状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が司会を行うことで、生徒の不十分な英語を言い換えるなどして、積極的な主張を援助する。</li> <li>・即興的に質問や対応をしようとした姿を認めていく。</li> <li>・単元を通じた態度や技能の伸びについて、一人一人の意識を把握し、今後の帯活動等につなげていく。</li> </ul>

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・ You said, "~" but I/we don't agree, because ~. We think ~. という言い方を用いて、相手の意見と関わらせながら、自分の考えの方がより妥当であることを主張することができる。

(2) 本時の位置 5 / 8 時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	評 価 に つ い て	指 導 ・ 援 助
<p>帯活動</p> <p>導入</p>	<p>前時と同じトピックについて、前時とは違う相手と対話する。</p> <p>A:I'm first. I think mountain is better. I have three reasons. First ~.</p> <p>B:You said "~", but I don't agree, because ~. I think sea is better.</p> <p>本時の課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Which is better, city life or country life? ~ 説得力のある反論をして、ミニディベートの勝利を目指そう! ~</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ You said, "~" but I don't agree. が使えていることや、理解の確認をしながら話を進めていることなど、具体的な姿で認め、励ます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ You said, "-." を言えるよう、メモをしながら話を聞くことと、聞き取れない時は、What's your second reason? 等と言って確認することを指導する。</li> <li>・ 反論の理由を伝えたいという生徒のつぶやきから本時の課題を提示し、意識付けを図る。</li> <li>・ clean, quiet, peaceful, lower crime/exciting, public transfer 等それぞれの立場のキーワードを板書する。</li> </ul>
<p>展開</p>	<p>前時の ALT との対話を通して確認した都会派と田舎派それぞれの利点と、相手が分からないときの説明の仕方を確認する。ジャッジの基準を理解する。ペアで相談しながら、自分たちの立場を支える根拠を考える。ミニディベートを行う。終わったら、ジャッジのペアと交代する。</p> <p>A:We think city life is better. We have four reasons. First we can go shopping many times. ~.</p> <p>B:We think country life is better. We have four reasons. First, people are kind. Second ~.</p> <p>A:You said, "people are kind." But we don't think so. I had my bike broken in a country ~.</p> <p>Judge:The winner is Team Country! (理由は日本語で簡単に)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ public transfer buses, trains, subway and so on. 等のやりとりを通じて、言い換えるときの一つの手法として、具体例をあげることがあることを教える。</li> <li>イ - ウ -</li> <li>・ 机列表をもちながら、順序立てて根拠を述べること等が意識されているか見届けるとともに、反論の理由を伝えられているかを観察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジャッジの基準を明らかにし、課題へのさらなる意欲化を図る。</li> <li>理解できた意見や反論の数 の内納得できた数</li> <li>・ I /we don't agree, because~ 等の言い方を、板書を利用して確認し、活用を意識付ける。</li> <li>・ 前後半の入れ替わり時に、理由をつけて反論できていたペアの姿を認め、後半の生徒たちの意欲化を図る。</li> </ul>
<p>終末</p>	<p>ジャッジの判定を踏まえ、もう一度ディベートをしたらどのように主張するのかをプリントに英語で書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提出させたプリントは、次の視点で見届ける。</li> <li>* 本時のねらいとする英語表現が使えているか</li> <li>* 相手の意見と関わらせて意見が述べられているか</li> <li>* 文法上の間違いがないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発想の豊かさや既習表現の活用がみられる英文をまとめ、次時の帯活動の時に紹介する。</li> <li>・ 英語で表現することに困難を感じる生徒には個別で対応する。</li> </ul>

## 5 評価の実際と個に応じた指導事例

### (1) 本時重点的に取り上げた評価規準

<イ - >

相手の意見と関わらせながら自分の考えの妥当性を主張して話すことができる。

### (2) 評価の実際

評価の方法

<活動の観察>

- ・机列表を持ちながら、ミニディベートにおける生徒の発話を聞く。

評価の決定

- ・ You said "~." But I don't agree, because ~. I think ~.の表現を使って話していて、なおかつ because や I think の後に続く内容が、相手の意見と関わりのあるもので、説得力があれば (B以上)と判断する。

### (3) 個に応じた指導の実際

単元を通じた継続的な手立て

- ・ You said, "~." But I don't agree.の表現に習熟が弱い生徒に対して  
この表現を用いた対話活動を帯活動として位置付け、繰り返し使わせた。その結果ほとんどの生徒が、発話の中でこの表現を自然に使うことができるようになった。
- ・ 自分の考えを既習表現を用いて言うことが苦手な生徒に対して  
仲間の用いた英語表現を毎時間帯活動で紹介し、仲間の英文を通して既習表現の使い方を復習させた。その結果、難解な内容を日本語で考え、それをそのまま英語に直そうとせずにつまずいてしまう生徒が減り、仲間の表現を真似たり活用したりして、既習表現を用いて言えることを言おうとする生徒が増えた。

個の学習状況に応じた手立て

- ・ 自分の考えをなかなかもつことができない生徒に対して  
自分の考えをもちやすくするために、ALTとのモデル対話を提示し、その中で話したそれぞれの立場の利点を表わすキーワードを板書で示したことで、どの生徒も必ず一つは自分の考えをもつことができた。
- ・ 自分の考えを英語で表現することが、困難な生徒に対して  
前時集めたプリントに書かれた日本語を、必要に応じて部分的に英語に直した資料を、本時の最初に生徒に返却し、机間指導を通して、その意味や発音の仕方等を指導する。



6 参考資料

( 1 ) 本時における生徒の作品例

*Opinion Sheet*

Class (     ) No. (     ) Name (     )

Side: Country

Your reasons

We may meet famous people in a city. If we meet them, we will  
-----  
become very happy.

There are big department stores in a city. We can buy many  
-----  
things there.

There are many foreign people in a city. We can learn foreign  
-----  
culture.

City life is very interesting, because you live in a big city,  
-----  
your life is like a school trip every day.

Memo

健康的 ... 森、動物がたくさん  
リラックス... うるさくない、星がきれい

Your opinions

You said, "Country has a lot of forests. Country life makes  
-----  
us healthier." But we don't agree, because some wild animals can  
-----  
come out of a forest. So forests are not healthy. It is dangerous.  
-----  
-----

( 2 ) 仲間の英文を紹介する学習プリント ( 本時用 )

習った言い方でこんなことも言える！ ～ 仲間の表現から学ぼう！ ～

まず大きく言ってみて、後からそれを詳しく説明 ～ 関係代名詞～

We can eat many delicious food which are sold at a sea house.  
( 海の家で売られているたくさんのおいしい食べ物を食べることができる )

「～の時～だ」と、言いたいことを具体的に ( 場面を具体的に ) する

When we go to sea, we see many kinds of fish.  
( 海へ行くと、たくさんの種類の魚を見ることができる )

When we go to mountain, we meet many dangerous insects.  
( 山へ行くと、たくさんの危険な虫に会う )

自分の経験を話す

I became happy when we went up Mt.Ibuki.  
( 伊吹山に登った時、幸せな気持ちになった )

「～かもしれない」( 第 2 弾 )

You may get a boyfriend or a girlfriend.  
( ボーイフレンドやガールフレンドとの出会いがあるかもしれない )

「～するのは、私たちには...だ」 It for to

It is very tired for us to climb a mountain.  
( 山に登ることは、私たちにとってとても疲れることだ )

It is healthy for us to walk in mountain.  
( 山の中を歩くことは、私たちにとって健康的だ )

have の使い方 ... 「～がある」という意味の have

Mountain has many *mainasu ion*  
( 山にはたくさんのマイナスイオンがある )

例をあげて分かりやすくする for example

We can enjoy many things. For example *suikawari*, swimming and *babekyu*.  
( たくさんのことを楽しむ。例えば、スイカ割り、泳ぐこと、バーベキュー )

「～みたい」「～のように見える」

Our skin becomes black. It's healthy. It looks active.  
( 日焼けする。健康的だ。( 日焼けしていると ) 活発に見える )